



Demoralizationとは どのような概念ですか？



国家公務員共済組合連合会
虎の門病院分院精神科

玉田 有



Demoralizationとは

Demoralizationとは、士気 (morale) の低下を意味する言葉で、1970年頃の米国において精神医学の術語となった。精神療法家Frank JDの定義¹⁾によれば、ストレスの対処に失敗し続けた結果、無力感、孤立感、絶望感、自尊感情の低下、人生が無意味に思えてしまう感覚が生じた心理状態のことである。自分の力ではどうすることもできず、自己統御感を失って、絶望する。これは了解可能な反応であり、必ずしも病的な心理状態とはいえない。正常からひと連なりのディメンジョンにあると考えてよいが、demoralizationを症状としてDSM-5に基づいて記述すれば、大うつ病性障害や適応障害などの診断がつくことが多い(図)。

Demoralizationを識別することの有用性

Demoralizationは、慢性の身体疾患や精神障害に重畳する。つまり、これらの慢性疾患に合併する大うつ病性障害や適応障害のなかには、demoralizationと診断でき

るケースが含まれている。たとえば、悪性腫瘍が再発を繰り返したり、その治療に伴う苦痛が持続したり、慢性うつ病でさまざまな努力や治療が失敗に終わったりすると、demoralizationが生じる。慢性うつ病の場合は、一次性の抑うつ症状が残存しているのか、二次性のdemoralizationが重畳しているのか区別が難しいことも多い²⁾が、このような慢性疾患に重畳する抑うつ病態の臨床において、demoralizationを識別することは以下の点で有用である。

第一の利点は、demoralizationの診断が治療方針の選択の指針となることである。精神薬理学者のKlein DFは、治療反応性の観点から、内因性うつ病とdemoralizationの鑑別を重視した³⁾。Kleinによれば、内因性うつ病に対しては三環系抗うつ薬や電気けいれん療法などの身体的治療が奏功するが、demoralizationに対してはこれらの身体的治療は効果を現さず、精神療法が有効である。また、Kleinは、内因性うつ病とdemoralizationの鑑別のポイントとなる症状学的特徴として、「完了行動のアンヘドニア」をあげた。つまり、飲食や性交など生物学的欲求の満足と直接関係した「完了行動の喜び」を感じる能力が、内因性うつ病では失われるが、demoralizationでは保